

武庫川流域委員会 松本委員長殿

以下の意見と要望を提出します。よろしくご検討ください。

080610 流域委員会委員 田村博美

## 第 83 回武庫川流域委員会運営委員会 意見資料

### 「流域連携について」の取組と今後の活動支援に対する要望

#### 1. これまでの武庫川の流域連携に関わる経緯概要

(1) 武庫川の総合治水へむけて提言書 平成 18 年 8 月 30 日 武庫川流域委員会

##### ①流域連携の基礎づくりと武庫川を守り育てる仕組みづくり P130～

「上流から中流下流に至る流域住民や活動母体の連携を行うとともに、武庫川を守り育て活かすこと、武庫川をよく知り学ぶことにより、武庫川との適切な付き合いを持続する必要がある。これにより日常の利活用とともに非常時の防災や減災が可能となる。」

##### ②「武庫川カルテ（武庫川ガイドブック）」の編集、作成、出版

武庫川づくり及び流域連携の基礎情報として。

##### ③「武庫川塾ネット」の整備と活用

武庫川流域圏内に点在する武庫川に関連する“地域資産”を再編し活用するために、これらによるネットワークを構築し、地域資産の活用を流域住民に促し、それによって武庫川流域圏における川と人、人と人の“つながり”と理解を深める。

##### ④環境を軸とした上中下流の連携

これまでの上中下流の連携がどちらかというと治水や利水の観点が強く、環境を軸にした連携が希薄であった。

##### ⑤流域景観づくりという視点

##### ⑥「川まち交流拠点」の整備

河川と都市の交流促進策、情報発信、ネットワーク、休憩、防災等多様な機能の一次拠点として。

(2) 武庫川水系河川整備基本方針（案） 平成 19 年 10 月 31 日 兵庫県

#### ① 2 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 P7～の (3) 河川環境の整備と保全の全体的な方針の③良好な景観の保全・創出

「景観については、治水との整合を図りつつ、関係機関や地域住民と連携し、上流域の緩やかに蛇行して流れる武庫川と田園景観、中流域における武庫川峡谷の自然景観、下流域の都市景観との調和など、各地域の特性を反映した武庫川らしい景観の保全と創出に努める。」

#### 同④河川利用と人と河川の豊かなふれあいの確保

「人と河川の豊かなふれあいについては、生活の基盤や歴史・文化、風土を形成してきた武庫川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあいや環境学習の場の整備・保全を図る。また、水辺空間に関する多様なニーズを踏まえ、自然環境及び治水計画との調和を図りつつ、適正な河川利用の確保に努める。」

#### ②流域連携 P12

「参画と協働」による武庫川づくりを基本として、地域住民、NPO、企業、行政が適切な役割分担のもと連携し、「まちづくり」と一体となった川づくりを行う。そのため、河川に関するさまざまな情報を幅広く共有することにより地域社会と河川の良好な関係を構築するとともに、多様な主体が取り組む川づくりについて流域関係しとの連携を図りながら、必要な支援策を講じる。……」

### (3)「武庫川づくりと流域連携を進める会」の発足と活動歴概要

- 07/04 武庫川づくりと流域連携を進める会 発足
- 07/07/06 第1回会議 ・県民局地域団体活動パワーアップ事業助成金交付「流域連携の推進と情報共有化事業」について  
・流域委員会以外の会員募集について
- 07/08/09 第2回会議 ・予算と実施事業について、流域連携に関わる講演会の検討
- 07/08/21 第3回会議 ・流域連携にかかわる講演会準備について
- 07/09/15 武庫川の水・魚・つながり 講演会開催
- 07/10/02 第4回会議 ・今後の流域連携にかかわる課題  
① “五感で味わうまちづくり”を目指す  
② 武庫川の水質改善の一環としてアイガモ農法等について勉強  
③ 武庫川の水質、水温、生物調査の実施  
④ 天然アユの遡上復活を目指す  
⑤ 連携できる企業や学校、大学、鉄道会社等への参画呼びかけ
- 07/10/13 武庫川エコハイク協働参加 ・武庫川起点から藍本まで
- 07/10/24 キリンビール神戸工場事前調整協議
- 07/10/26 第5回会議 ・第4回会議課題について提案及び報告  
・本来の目的の一つである「武庫川ガイドブック」の編集
- 07/11/10 武庫川エコハイク協働参加 ・武庫川峡谷と桜の園ハイク
- 07/11/15 第6回会議 ・上記課題の進め方等
- 07/11/30 武庫川下流調査 ・あまがさき市民まちづくり研究会協働
- 07/12/02 「阪神北にぎわい交流広場」へのポスターセッション展示参加
- 07/12/08 武庫川エコハイク協働参加 ・千刈水源地ハイク
- 07/12/21 第7回会議 ・アイガモ農法勉強会  
・千刈ダム治水機能付加検討への取り組み  
・キリンビール神戸工場視察と交流会の開催予定  
・トヨタ財団への活動助成応募
- 08/01/16 キリンビール神戸工場での交流イベント開催
- 08/02/02 第8回会議 ・天然アユ遡上復活に向けた調査の取組、武庫川の水温水質調査への参加等  
平成20年度河川環境管理財団助成金申請
- 08/03/22 第9回会議 ・平成19年度県民局助成事業のまとめ報告、平成20年度事業の方針、平成20年度（財）ひょうご環境創造協会助成金申請等  
・会則見直しと事務局体制の強化、流域連携の具体的取組等
- 08/04/19 第10回会議 ・天然アユ遡上にむけた取り組み、武庫川の水質改善、全国一斉水質水温調査への取組について、武庫川流域での特異な自然環境について調査報告、沿川の具体的課題と地域課題への取り組み
- 08/05/25 第11回会議 ・武庫川流域の生物調査の報告、尼崎市大庄地区ヒアリング報告  
・宝塚市中心市街地と武庫川について平成16年「都市再生ビジョン案」を受けた地元の取組事例紹介(市より)ほか
- 08/06/08 全国一斉水質水温調査参加(武庫川流域15地点、17名参加)・結果を6/21取りまとめ

#### (4) 今後の活動に関する課題と要望

##### ①活動内容の多様化と人的対応力不足

昨年4月、「武庫流会」発足と7月の本格的活動開始以来11回の会議とイベント、勉強会、武庫川ハイクへの参加等々主として流域連携の在り方を模索する活動を行ってきた。

そのため活動軸を決め調査研究主体の活動というより幅広い多様な活動を行うことが多く対応上の課題も生じた。

活動資金を得るため各種の助成金申請書類作り、報告書づくり、助成金に関わるイベントへの参加、会議場所の確保等に追われ本来の活動へ力の結集ができないという問題も生じた。

専業で対応できる人材が不足したため少数者に負担がかかった。

②本来の目標である武庫川に関する情報共有化事業(武庫川ガイドブックの編集、製作、発行)に主力を割く。そのための費用の支援。

③流域連携に関わる諸提言案を実施するための具体策。

④流域連携と武庫川づくりのシンボルである天然アユ遡上のための調査、具体の行動。

武庫川漁協、県等の協働事業実施と関係市の協力。流域連携活動としてのイベント実施。

⑤県は基本方針に掲げた「流域連携」をどのように捉えどこにどのような支援策を実施する予定か。